

社会科 小学校 3年

単元名

「スーパーマーケットではたらく人」
東京書籍「新しい社会」3年

単元の流れ（全16時間）

【第1次】

主な学習内容

◇第1～2時 スーパーマーケットで働いている人々の様子を見たり、買い物調べをしたりして、今後の学習に対する課題を理解する。

【第2次】

主な学習内容

◇第3～7時 自分の立てた予想をもとに、スーパーマーケットの見学を通しインタビューなどの調査活動をする。

【第3次】

主な学習内容

◇第8～11時 品物の産地を確かめ、他地域とのつながりを調べたり、調査活動をもとにたくさんお客が来る理由を考える。

【第4次】

主な学習内容

◇第12～14時 店長になったつもりで、売り方などに様々な工夫をしていることを考える。
(本時14/16)

「活用」の力育成のために

資料から必要な思考ができ、これまでの学習を生かして自分の考えを書くことができる。(ポイント③)

評価問題

【第5次】

主な学習内容

◇第15～16時 小売店や商店街、コンビニエンスストアなど地域の特色あるお店と生活とのつながりについて考える。

「活用」の力育成のために

本時で交流したことをもとに実際の買い手と売り手の両方の立場になって考える。

CLICK

単元指導計画例はこちら

HOME

本時の流れへ

単元目標

- 地域の販売に携わる人々の様子に関心を持ち、見学や調査活動を通して働く人々の様子を調べたり、考えようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 地域の販売活動に携わる人々は消費者の願いに合わせて工夫や努力をしていることを考え、とらえることができる。
(思考・判断)
- 地域の販売活動に携わる人々の様子を見学したり調査したりして調べ、具体的に分かったことをノートや学習シートなどに分かりやすく表現する。
(技能・表現)
- 地域の販売活動にかかわる仕事にはそれぞれ特色があり、それらの仕事に携わっている人々の販売に対する工夫や努力を理解している。
(知識・理解)

「活用」の力を育てるポイント

- ①スーパーマーケットなどのお店の見学やインタビュー等の調査活動で分かったことを中心に説明する活動を取り入れる。
- ②調査活動をもとに自分なりに考えをまとめ、たくさんのお客が来るための工夫を考えさせる。
- ③本時のめあてを明確にし、本時の学習について振り返る。